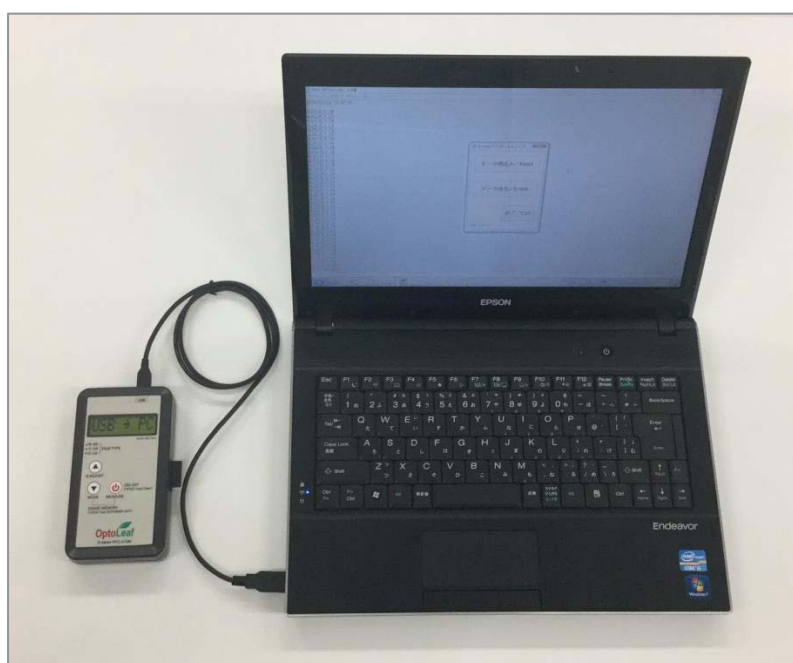


オプトリーフ測定器 D-Meter RYO-470M

～ アプリケーションソフト ～

# 操作マニュアル

(2018.05.01)



## 目次

概要.....	2
準備.....	2
使い方	
1.起動.....	3
2.メニュー画面 .....	3
3.データ読み込み .....	4
4.データ消去.....	5
5.終了.....	6

販売  
クリマテック株式会社  
〒171-0014  
東京都豊島区池袋4-2-11 CTビル6F  
Tel 03-3988-6616 Fax 03-3988-6613  
URL:www.weather.co.jp  
mail:sales2@weather.co.jp

製造  
大成ファインケミカル株式会社  
機能商品事業部

## 概要

本マニュアルでは、アプリケーションの準備と起動、D-Meter RYO-470M からパソコンへの測定データの取り込み、測定データの全消去について説明します。

## 準備



事前にダウンロードファイルの付属資料『必ずお読みください』をご覧ください。  
この先の作業は、資料に記載された内容を実施したものと説明しています。

### アプリケーションの設置

本アプリケーションはインストールが不要でスタートメニュー等に自動作成されないため、ダウンロードしたファイルにあるアプリケーションソフト(D-Meter.exe)をローカルディスクやデスクトップなど、任意の場所へコピー・移動します。

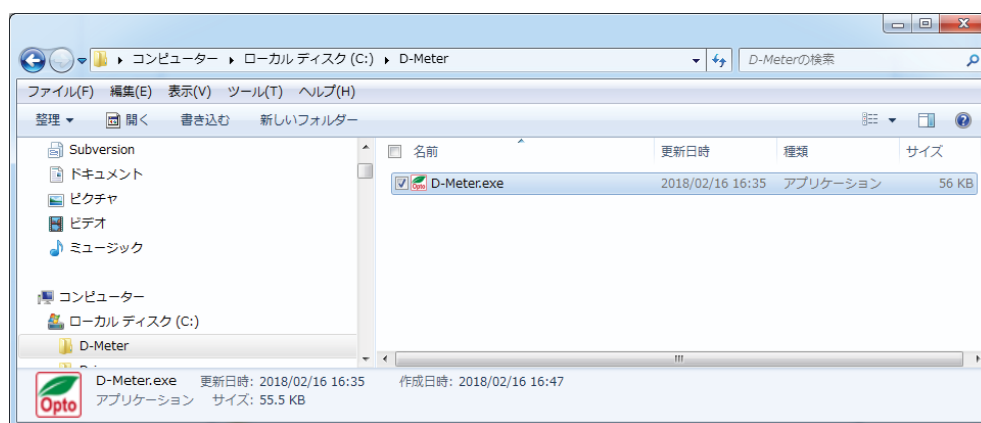


図-1 C:¥D-Meter フォルダへコピー(例)

### アプリケーションの動作確認

D-Meter.exe をダブルクリックしてください。

動作する環境が整っていない場合はエラー(図-2)が表示されます。

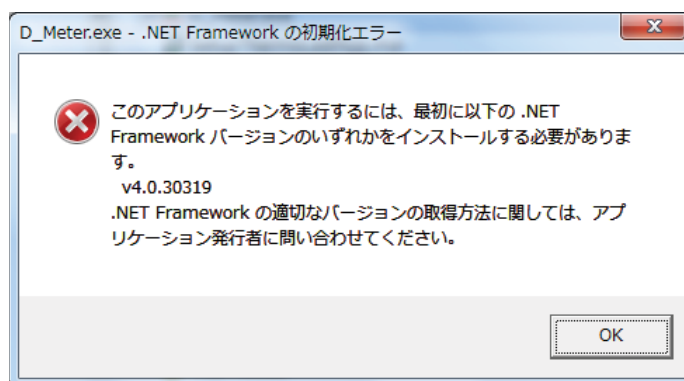


図-2 エラー表示

Microsoft .NET Framework 4.6.1 が正常にインストールされていない可能性があります。再度インストールをやり直してください。

## 使い方

### 1.起動

1) D-Meter の電源を OFF にしてパソコンと接続

USB ケーブルを接続すると D-Meter の電源が ON になり、D-Meter に **USB + PC** が表示され、通信の準備ができたこととなります。USB ケーブルを抜くと D-Meter の電源は OFF になります。

2) D-Meter.exe をダブルクリックします。正常に起動できると 2.メニュー画面が表示されます。

エラー(図-3)が表示された場合は以下のような状況が考えられます。

- ① USB ケーブルが正しく接続されていない。
- ② D-Meter の電源が ON のまま USB ケーブルを接続した。

この時は USB ケーブルの接続をやり直してください。



図-3 エラー表示

### 2.メニュー画面

この画面からボタンをクリックして各作業を行います。

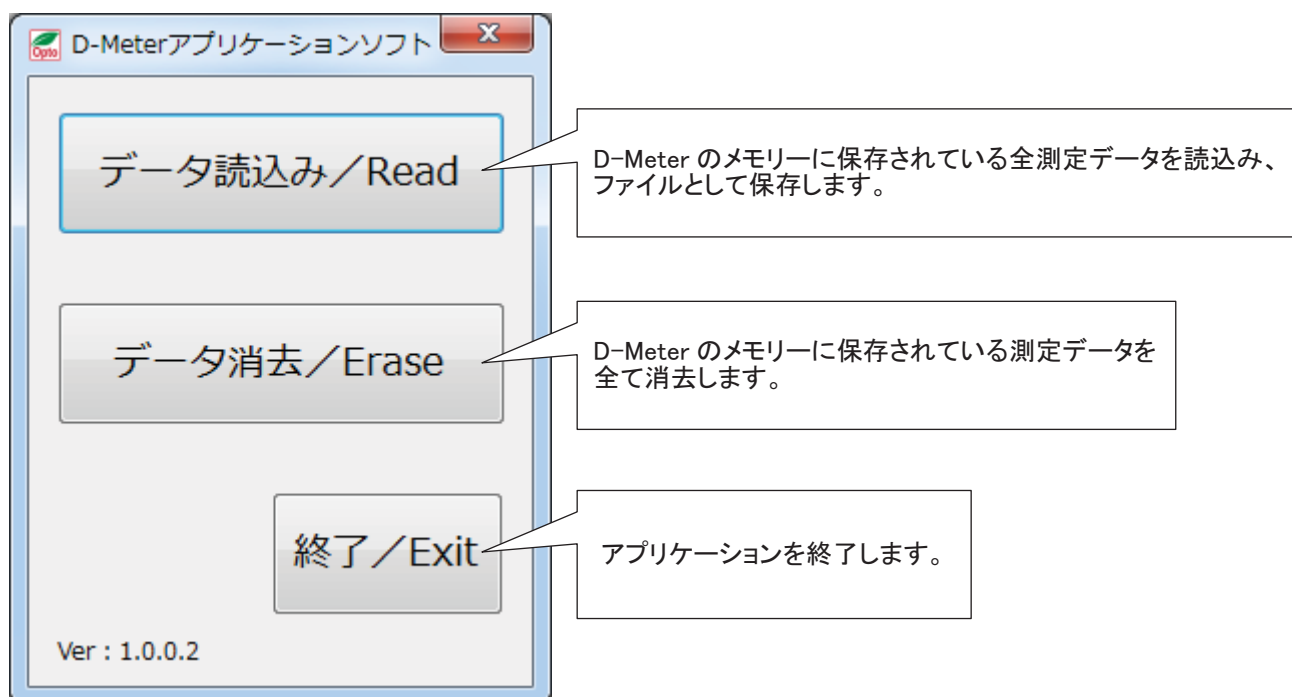


図-4 メニュー画面

### 3.データ読み込み

**データ読み込み/Read** ボタンをクリックすると、データ読み込み画面(図-5)が表示されます。

図-5 データ読み込み画面

「保存先/Save in」 ファイルを保存するフォルダの場所が表示されます。初期状態では図-5 の通りです。

**参照/Browse** ボタンでフォルダの変更ができます。直接入力もできます。

「ファイル名/Name」 保存するファイル名が表示されます。

年月日時分の付いた名前が自動的に表示されています。直接入力もできます。

「コメント/Comment」 ファイルへ挿入するコメントを入力します。

**参照/Browse**

フォルダの参照画面(図-6)が表示され  
任意のフォルダを選択できます。

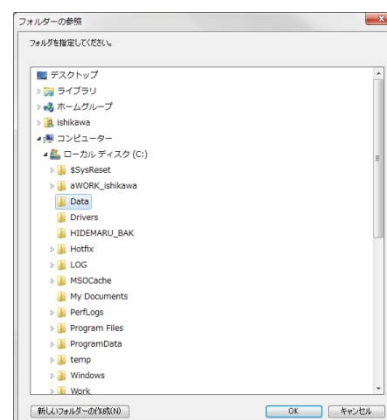


図-6 フォルダの参照画面

**保存/Save**

確認メッセージ(図-7)が表示され、データが保存されます。

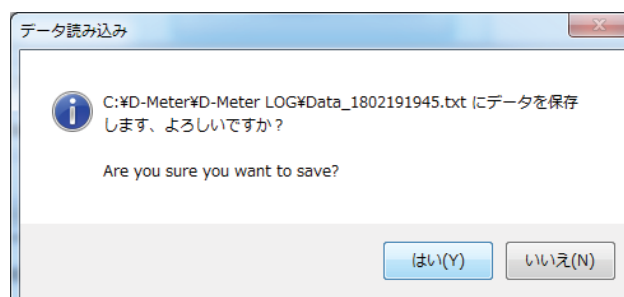


図-7 確認メッセージ

**はい(Y)** 保存が開始されます。

**いいえ(N)** メニューに戻ります。

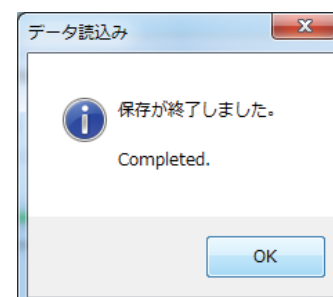


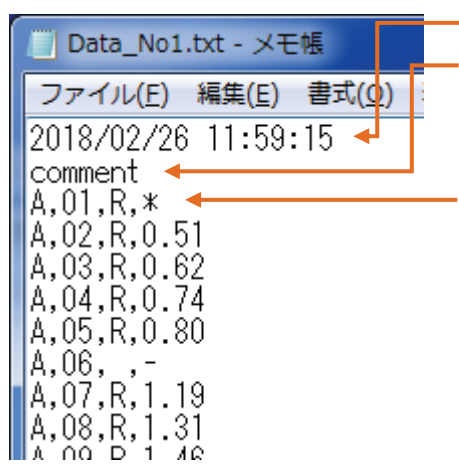
図-8 終了メッセージ

保存が終了するとメッセージ

(図-8)が表示されます。

### ファイル保存例

ファイルは「ファイル名.txt」で保存されます。ファイルの詳細は以下の通りです。



1 行目: 保存した日付 時刻  
 2 行目: コメント欄で入力した文字列  
 3 行目~992 行目に測定データが表示されます  
 3 行目: 「A」 ブロック  
 「02」 ブロック内番号  
 「R」 リーフ種類 RYO 種別  
 「\*」 測定値 (\* /エラー、-/データなし)  
 992 行まで 測定値はブロックが A~J、  
 番号はそれぞれに 1~99 で合計 990 行

図-9 保存されたファイル

Excel 等で測定値を利用する際は、以下の手順を参考にしてください。

例: Microsoft Excel 2010



Excel を起動し、[データ]タブのテキストファイルをクリック、ファイル選択から「ファイル名.txt」をインポートします。  
 次へ → カンマにチェック → 完了

図-10 ファイルの取り込み方法

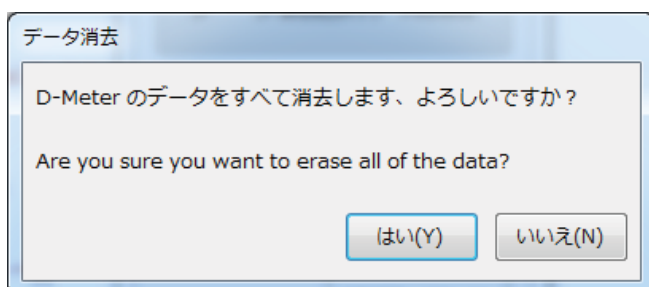
	A	B	C	D
1	2018/2/26 11:59			
2	comment			
3	A	1 R	*	
4	A	2 R		0.51
5	A	3 R		0.62

取り込み先(既存ワークシート、新規ワークシート)を選択すると、図のようなデータが取り込まれます。

図-11 取り込まれたデータ

## 4. データ消去

**データ消去/Eraser** ボタンをクリックすると、確認メッセージ(図-12)が表示されます。



**はい(Y)** データの消去が開始されます。

**いいえ(N)** メニューに戻ります。

図-12 確認メッセージ

データ消去が終了するとメッセージ(図-13)が表示されます。

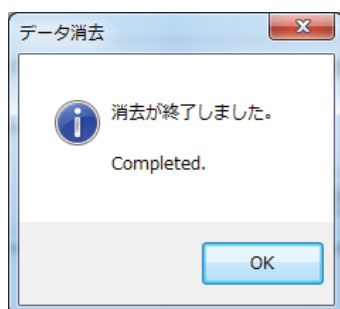
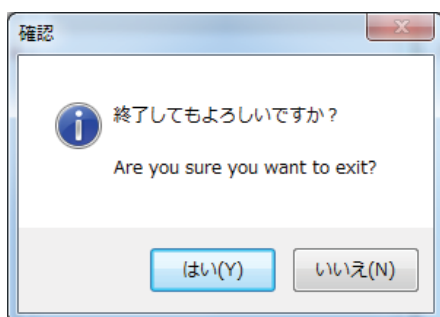


図-13 終了メッセージ

## 5. 終了

**終了** をクリックすると確認メッセージ(図-14)が表示されます。



**はい(Y)** アプリケーションを終了します。

**いいえ(N)** メニューに戻ります。

図-14 確認メッセージ

アプリケーション終了後は、USB ケーブルを抜くと自動的に D-Meter の電源が OFF になります。  
USB ケーブル接続中は D-Meter 本体スイッチからの電源 OFF はできません。